



# CoFesta 2015

## パートナーイベント 第6回 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード2015」 「International Corporate Film Showing 2015」

名称：第6回 映文連 国際短編映像祭「映文連アワード2015」  
「International Corporate Film Showing 2015」

会期：2015年11月25日（水）～27日（金）

会場：国立新美術館講堂／ユーロライブ

主催：（公社）映像文化製作者連盟

後援：文部科学省／経済産業省／東京都／映像産業振興機構／日本映画テレビ技術協会／日本アド・コンテンツ制作社連盟／  
日本ポストプロダクション協会／日本映画撮影監督協会／日本映画テレビ照明協会／高度技術社会推進協会／  
毎日新聞社／日本経済新聞社／映像新聞社／ユニ通信社

対象：一般観客、映像制作関連業種関係者及びそれらの職種を目指す学生等

来場者数：670人

### ■内容

「映文連アワード2015」は、今年度3部門合わせて140作品の応募があり、1次審査及び2次審査を経て、9月中旬に最優秀作品賞（グランプリ）、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、部門優秀賞など、31作品の受賞が決定。11月25日国立新美術館講堂において表彰式を開催し、受賞者に賞状とトロフィーを贈った。

11月26～27日の2日間、「映文連アワード2015」受賞作品上映会を渋谷・ユーロライブにおいて開催し、全受賞作品31本を「未来×記憶」をテーマに6プログラムに分けて上映。受賞作のプロデューサーや監督をゲストに迎え、トークセッション（「日本人の記憶とその技をめぐって」「映像の可能性を求めて～若手監督大いに語る～」）を行った。

また、26日夜には同会場にて、世界三大企業映像祭の今年度受賞作品を紹介する「International Corporate Film Showing 2015」を開催し、ドイツのWorld Media Festival、米国のInternational Film and Video Festival、フランスのCannes Corporate Media & TV Awardsの入賞作品20作品を一挙上映した。